

科目名	PC活用 6						年度	2026	
英語科目名	Computer Application 6						学期	後期	
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 スポーツビジネスコース 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員	小松雅樹	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロスポーツチーム		
【科目の目的】 プレゼンテーションで使用するソフトウェア（パワーポイント、Excelなど）の基本機能の理解と使用方法を習得することを 目指します。また、プレゼンテーションスライドの構成原則を学びながら、メッセージの明確化、ストーリーテリング、視覚 的情報の活用（画像、図表、グラフ、動画など）といった効果的なプレゼンテーションのためのスキルを習得します。									
【科目の概要】 効果的なプレゼンテーションに求められるプレゼンテーション資料の作成方法に関する様々なスキルを学びます。本科目で は、卒業展示会に向けた成果発表を題材として、実習や演習に基づく学習内容に関するプレゼンテーション資料の作成を行い ます。									
【到達目標】 到達目標 A：視覚的なデザインに必要な要素（レイアウト、フォント、カラースキーム含む）を理解し、魅力的でわかりやす いスライドが作成出来るようになる。 到達目標 B：効果的なプレゼンテーションのために、適切な画像、グラフ、図表、動画などのコンテンツを選び、プレゼン テーションスライドに組み込むスキルを習得する。 到達目標 C：聞き手が情報を追いやすいように提供するトピックを適切にまとめ、一貫性のある適切なスライド遷移のため のスキルを習得する。 到達目標 D：プレゼンテーションの目的を明確にし、簡潔にメッセージを伝達するためのストーリーを構築することが出来 る。 到達目標 E：幅広い聴衆に向けたプレゼンテーションを提供するための配慮が出来るようになる。									
【授業の注意点】 PCを利用した授業となりますので、各授業内で作成したデータの保存・管理に十分注意してください。また、関連教材につい ては全て配布資料にて行いますので、配布資料の紛失等がないよう資料管理をしてください。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	視覚的なデザイン要素を 理解した上で、魅力的で わかりやすいスライドが 作成出来るようになる。		視覚的なデザインに必要 な要素（レイアウト、 フォント、カラースキ ーム含む）について理解出 来た。		到達目標の達成度として 不十分				
到達目標 B	適切な画像、グラフ、図 表、動画などのコンテ ンツを使って、効果的な プレゼンテーションスラ イドを作成することが出来 た。		効果的なプレゼンテー ションのための適切な画 像、グラフ、図表、動画 などのコンテンツ選択が 出来た。		到達目標の達成度として 不十分				
到達目標 C	聞き手が情報を追いやす いようにトピックを適切 にまとめ、一貫性のある 適切なスライド構成と進 行が出来た。		聞き手が情報を追いやす いように提供するトピッ クを適切にまとめること が出来た。		到達目標の達成度として 不十分				
到達目標 D	プレゼンテーションの目 的を明確にし、メッセ ージにストーリー性を加え ることが出来た。		伝えるべきプレゼンテー ションの目的を明確にす ることが出来た。		到達目標の達成度として 不十分				
到達目標 E	幅広い聞き手がプレゼン テーションにアクセス出 来るよう、情報提供のため の具体的な対策を取る ことが出来た。		幅広い聞き手に向けた プレゼンテーションを提 供するための配慮が出来 た。		到達目標の達成度として 不十分				
【教科書】 授業に必要な教材資料等については教員にて準備・配布する。参考書等を使用する場合には授業内にて指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30%、授業中の参加姿勢/学 習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30%、出席状況40%とし、授業内における達成度・到達度を 総合的に判断して行います。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要となります。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		PC活用6			年度	2026
英語表記		Computer Application 6			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	イントロダクション	成果発表に向けたプレゼンテーションテーマの設定	1	プレゼンテーションの目的とは①	プレゼンテーションの目的の確認	2
			2	プレゼンテーションの目的とは②	対象とする聴衆が持つ要望の理解	
			3	プレゼンテーションの目的とは③	プレゼンテーションゴールの設定とメッセージの明確化の習得	
2	スライドデザインとスタイル	デザインとスタイルの基本的理解とグラフィックスの活用	1	デザインの基礎①	成果発表に適したスライドデザインの設定	2
			2	デザインの基礎②	画像・図形の使用目的の理解	
			3	デザインの基礎③	レイアウトの整理とスライドマスターの活用	
3	スライドコンテンツ	スライドコンテンツの整理	1	プレゼンテーションのストーリー化	伝わりやすいスライド構成の検討	2
			2	グラフィックスの使い方	メッセージのストーリー化に必要な要素の選択	
			3	プレゼンテーションにおける説得力	適切なタイトルと要点の書き方の設定	
4	プレゼンテーション資料作成作業	発表資料の作成	1	プレゼンテーションのストーリー化	論理的なスライド展開の確認	2
			2	グラフィックスの使い方	画像・図形の適切な使用	
			3	プレゼンテーションにおける説得力	量的に十分な情報提供と効果的な説明の確認	
5	プレゼンテーション資料作成作業	発表資料の作成	1	プレゼンテーションのストーリー化	論理的なスライド展開の確認	2
			2	グラフィックスの使い方	画像・図形の適切な使用	
			3	プレゼンテーションにおける説得力	量的に十分な情報提供と効果的な説明の確認	
6	プレゼンテーション資料作成作業	発表資料の作成	1	プレゼンテーションのストーリー化	論理的なスライド展開の確認	2
			2	グラフィックスの使い方	画像・図形の適切な使用	
			3	プレゼンテーションにおける説得力	量的に十分な情報提供と効果的な説明の確認	
7	プレゼンテーション資料作成作業	発表資料の作成	1	プレゼンテーションのストーリー化	論理的なスライド展開の確認	2
			2	グラフィックスの使い方	画像・図形の適切な使用	
			3	プレゼンテーションにおける説得力	量的に十分な情報提供と効果的な説明の確認	
8	プレゼンテーション資料作成進捗確認	中間発表	1	プレゼンテーションゴールに沿った資料内容の確認	3	
			2	プレゼンテーション完成度の確認		聞き手に分かりやすい資料内容と表現方法の確認
			3			プレゼンテーション資料全体の完成度確認
9	プレゼンテーション資料作成作業	発表資料の作成	1	プレゼンテーションのストーリー化	論理的なスライド展開の確認	2
			2	グラフィックスの使い方	画像・図形の適切な使用	
			3	プレゼンテーションにおける説得力	量的に十分な情報提供と効果的な説明の確認	
10	プレゼンテーション資料作成作業	発表資料の作成	1	プレゼンテーションのストーリー化	論理的なスライド展開の確認	2
			2	グラフィックスの使い方	画像・図形の適切な使用	
			3	プレゼンテーションにおける説得力	量的に十分な情報提供と効果的な説明の確認	
11	プレゼンテーション資料作成作業	発表資料の作成	1	プレゼンテーションのストーリー化	論理的なスライド展開の確認	2
			2	グラフィックスの使い方	画像・図形の適切な使用	
			3	プレゼンテーションにおける説得力	量的に十分な情報提供と効果的な説明の確認	
12	プレゼンテーション資料作成作業	発表資料の作成	1	プレゼンテーションのストーリー化	論理的なスライド展開の確認	2
			2	グラフィックスの使い方	画像・図形の適切な使用	
			3	プレゼンテーションにおける説得力	量的に十分な情報提供と効果的な説明の確認	
13	プレゼンテーション資料作成作業	発表資料の作成	1	プレゼンテーションのストーリー化	論理的なスライド展開の確認	2
			2	グラフィックスの使い方	画像・図形の適切な使用	
			3	プレゼンテーションにおける説得力	量的に十分な情報提供と効果的な説明の確認	
14	プレゼンテーション資料作成進捗確認	最終発表	1	プレゼンテーションゴールに沿った資料内容の確認	3	
			2	プレゼンテーション完成度の確認		聞き手に分かりやすい資料内容と表現方法の確認
			3			プレゼンテーション資料全体の完成度確認
15	プレゼンテーション資料作成作業	発表資料の最終調整作業	1	プレゼンテーションのストーリー化	著作権・ライセンス、適切な引用・出典の管理	2
			2	グラフィックスの使い方	プライバシーとデータセキュリティの理解	
			3	プレゼンテーションにおける説得力	テストプレゼンテーションの実施とフィードバックの収集による改善	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等